学校番号	107

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	論理国語	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「論理国語」　（大修館書店）						
副教材等	「最新国語便覧」（浜島書店） 「重要頻出漢字　リアルマスター３３００」（尚文出版） 「文学国語セレクション」（東京書籍） 「読解　評論文キーワード　改訂版　頻出 270 語&テーマ理解&読解演習 54 題」（筑摩書房） 「ニューフェイズ　現代文３」（第一学習社） 「徹底演習　新しい共通テスト国語対策問題集［現代文＋古典］35」（桐原書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

国語科では、「自ら考える力」の育成を目指しています。実り多い学習となるよう、「授業」を大切にし、「予習」・「復習」はバランス良く主体的に取り組みましょう。授業を受ける前と後の自分の思考の変化を感じてください。３年次では本文の構造を客観的に把握しつつ筆者の主張を見つけ出し、自己の考えを書く力を身につけることを目標とします。そのために「予習」では、辞書を活用して新出語句の意味調べや本文の音読、「復習」では学んだことを整理し、重要事項についてさらに調べて、どんどんノートに付け加えましょう。授業中は級友の意見や授業者の口頭による説明も必要に応じてメモをとり、積極的に参加してください。また、定期考査は計画を立てて臨み、提出物の期限は厳守しましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしており、言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	Ⅰ　自己と他者 ［教材］ 人はなぜ贈与をするのか	a：文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 b[読]：文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。 c：学習課題に沿って、対比の意図や具体例とまとめの関係を的確にとらえようとするとともに、「贈与」という行為の意義を読み取り、人間社会について考えを深めようとしている。	ノート 第一中間考査	第一中間考査	グループ発表
	Ⅱ　コミュニケーションの手段 ［教材］ ネットワーク上のコミュニケーション 対比して論じる	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。 b[書]：書き手の立場や論点などのさまざまな観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。 c：学習課題に沿って、対比や具体例に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	ノート 第一中間考査 小テスト	第一中間考査 ワークシート	振り返りシート ノート
	Ⅲ　メディアの変容 ［教材］ 消費されるスポーツ 仮説を立てて検証する	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：　主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 b[書]：多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。 c：学習課題に沿って、具体例に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	ノート 第二中間考査	第二中間考査	振り返りシート ノート

	Ⅳ 言語の探究 ［教材］ 猫は後悔するか	a:文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。 b[読]:人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。 c:学習課題に沿って、論理の展開に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	ノート 第二中間考査	第二中間考査 ワークシート	振り返りシート ノート
	Ⅴ 政治と社会 ［教材］ 「である」ことと「する」こと	a:文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 b[読]:関連する文章や資料をもとに、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 c:学習課題に沿って、対比的な概念や具体例の意図を押さえつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	ノート 前期末考査	前期末考査 ワークシート	振り返りシート ノート グループ発表
	Ⅵ 存在への問い ［教材］ 日常に走る亀裂 言語と他者	a:使用されている語句の定義を確認しつつ理解を深めている。 b[読]:筆者の思考をふまえて、既有の知識や経験を基に自分の考えを深められている。 c:従来の物事のとらえ方や考え方を改めて見つめ直すことに興味・関心をもとうとしている。	ノート 前期末考査	前期末考査	振り返りシート ノート
後期	Ⅶ 環境へのまなざし ［教材］ リスク社会としての現代	a:論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]:設定した題材に関連する複数の文章や資料をもとに、必要な情報を関係づけて自分の考えを広げたり深めたりしている。 c:学習課題に沿って、本文中の概念の定義を意識しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	ノート 後期中間考査	後期中間考査	振り返りシート ノート グループ発表
	Ⅷ 歴史と時間 ［教材］ 無常ということ 日本文化の三つの時間 自由に考えを書く	a:論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]:文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。 b[書]:書いた文章をまわりの生徒と読み合い、また自身の取り組みを振り返る活動をとおして、成果と課題を把握できている。 c:学習課題に沿って、具体例と分析・考察の関係を意識しつつ、粘り強く筆者の主張を押さえようとしている。	ノート 後期中間考査	後期中間考査 ワークシート	振り返りシート ノート

4　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・書くこと　　…　（　　２０　　）時間
・読むこと　　…　（　　５０　　）時間